

## カルト団体の接触に関する注意喚起（新天地）

韓国発祥のキリスト教系団体である「新天地（新天地イエス教証拠幕屋聖殿）」が、2021年9月以降、日本各地の諸キリスト教会に対し、電話やメールなどを用いてオンラインセミナーや集会への参加を勧誘しているという報告が、各地の教会から寄せられています。また、2023年以降も、「同じ聖書を使っているのに、自分たちは異端と誤解を受け続けているので、教義について話し合い、誤解を解かせてほしい」と呼びかけるメールや手紙が多く、多くの牧師に届いています。

新天地は、李萬熙（イ・マニ）氏を代表とする団体であり、独特な聖書講義を通して李氏がメシアであるという教えを導いています。韓国における活動の特徴としては、新天地の信者が身分を隠して既存の教会に潜入し、長い時間をかけて教会の信頼を得たのちに、さらに新天地信者を連れてきて、教会を混乱に陥れ、最終的には新天地に属する牧師を招くことによって、新天地の教会にしてしまうという手法をとります。それにより、多くの既存教会が新天地に乗っ取られました。

日本では、この新天地が関与するオンラインセミナーへの参加を促す直接訪問、あるいは電話での勧誘を受けたという報告が多く、多くの教会から寄せられています。また、留学生を名乗る人物がオンライン礼拝を行っている教会に対して、電話もしくはメールで「友人の韓国人宣教師があなたの教会の宣教を手伝いたいと言っている」とか、宣教師を名乗る人物が「急に帰国しなければならなくなったので自分のところの信徒を引き継いで欲しい」といった虚偽の内容を伝え、潜入を目論む事例が見受けられます。

その際に、自分たちが何者であるかを明らかにせず、韓国主要教団名を名乗って近づこうとします。また、HelloTalkなどの会話アプリやオンラインゲームのチャットを通して知り合ったメンバーが、正体と目的を隠して「心理学を教える」という名目で、青年や学生を引き込んでいるケースも見られます。

さらに、偽装勧誘と並行して、新天地のメンバーであることを明かした上で、「聖書を基準にして、私たちが異端なのかどうか、直接、私たちの教理についてYouTubeを通じて判断していただければ幸いです」と呼びかける接触も行われています。このような団体の集会やセミナーに参加することは、参加した本人だけでなく、「〇〇も、〇〇も参加している」と聞かされた周りの人たちにも影響を及ぼすため、接触を拒むことが賢明です。

また、新天地のみならず、類似の問題を持つ他団体からも、集会や聖書勉強会への勧誘、教会への接触が行われていることが報告されています。これら議論ある団体に関する詳細については、カルト問題キリスト教連絡会から発行している小冊子『カルトって知ってますか？』をご覧ください、少しでも不審を感じたら、相談機関にお問い合わせください。

2025年1月20日

日本基督教団 カルト問題連絡会